



たまでね

～たまな市議会だより～



令和3年
12月定例会

令和4年2月1日発行

NO.65

表紙イラスト:「火渡り神事」

玉名女子高等学校 アニメデザインコース 2年 いなざき 稲崎 おおか 桜夏 さん



**保育体制強化事業補助金など
1,277万円**

**子育て世帯等
臨時特別給付金支給事業
9億8,958万円**
(18歳以下の子ども一人につき10万円を支給する)

賛否の分かれた議案

議 案	議員名																	議決結果
	大野 豊重 (自友)	中村 慎吾 (新生)	浜田 繁次郎 (新生)	瀬崎 剛 (創政未来)	田浦 敏晴 (第二新生)	山下 桂造 (自友)	立川 信之 (第二新生)	坂本 公司 (第二新生)	吉田 真樹子 (創政未来)	一瀬 重隆 (自友)	北本 将幸 (創政未来)	多田 限啓二 (創政未来)	松本 憲二 (自友)	徳村 登志郎 (公明党)	西川 裕文 (第二新生)	江田 計司 (新生)	近松 恵美子 (新生)	
議第119号 玉名市立小中学校体育施設等使用料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	欠席	○	議 長	原案可決 (賛15、反5)

※新生…新生クラブ/第二新生…第二新生クラブ/自友…自友クラブ/創政未来/無党派…会派に属さない議員

討論 私はどう考える!!

クローズアップ 議第119号…小中学校体育施設の使用料条例の改正とは

学校体育館使用料は、部活動使用以外は有料であったが、令和元年度の小学校部活動廃止に伴い小中学生の地域スポーツクラブには、一定期間経過措置として減免していた。

経過措置期間が終了することに伴い有料となるが、負担軽減として中学生以下の半額料金を新設する。この他、体育館の半面貸出しを可能にし、多くの団体に利用できるよう改正する。

原案賛成

田浦 敏晴

本来負担すべき使用料が3年間免除されてきた。今回の改正で、大人料金の半額が新設され小中学生の負担に配慮されている。負担軽減策は、スポーツ振興や青少年の健全育成といった別の観点から見つけてはどうか。

原案反対

前田 正治

小中学生の団体から使用料を徴収するのは、総合型地域スポーツクラブの活動を支援する市の方針にそぐわないのでは。義務教育の子どもたちに受益者負担を求めるべきではなく、これまで同様に全額免除とすべきである。

体育館使用料 (1団体当たり)

令和3年度まで	令和4年度から
一般料金 300円/1時間	一般料金 300円~/1時間
中学生以下 減免措置	中学生以下 150円~/1時間

**Pay払い決済ポイント還元事業
1億3,500万円**
(市内店舗での買い物時、ポイントを20%還元する)



**ふるさと納税推進業務委託
2億1,979万円**
(納税者の大幅な増加に伴う返礼品の準備費用)

**令和3年 第8回定例会
(12月)**

令和3年12月定例会は、11月30日から12月22日の23日間の会期で開催。市の提出案件は19件で、令和3年度補正予算、条例関係、人事案件等を審議し、可決、同意した。



※画像はイメージです

令和3年 第8回定例会 議案の審議結果

全会一致で可決、同意した議案

議番号	議 案 名	議番号	議 案 名
議第112号	令和3年度玉名市一般会計補正予算(第12号)	議第123号	財産の処分について
議第113号	令和3年度玉名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第124号	公平委員会委員の選任について
議第114号	令和3年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	議第125号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第115号	令和3年度玉名市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	議第126号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第116号	令和3年度玉名市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	議第127号	令和3年度玉名市一般会計補正予算(第11号)
議第117号	玉名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	議第128号	監査委員の選任について
議第118号	玉名市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	議第129号	監査委員の選任について
議第120号	指定管理者の指定について	議第130号	監査委員の選任について
議第121号	指定管理者の指定について	議 員 提 出 第 4 号	議会改革推進特別委員会の設置について
議第122号	普通財産の無償貸付けについて	議 員 提 出 第 5 号	議会広報広聴特別委員会の設置について
		議 員 提 出 第 6 号	有明海沿岸道路及び公共施設建設調査特別委員会の設置について

人 事

★公平委員会委員の選任	★人権擁護委員候補者の推薦	★監査委員の選任	(敬称略)
むらさき 村崎 信介	みづもと 永本 明子	もとだ 元田 充洋	さかもと 坂本 直子
	しろやま 城山 春美	さくもと 作本 幸男 (議会選出)	はるみ 幸男 (議会選出)

常任委員会・特別委員会など構成委員の紹介 R3.11～

◎＝委員長 ○＝副委員長

総務委員会

(定数8人)

◎徳村登志郎 ○吉田真樹子
大野 豊重 中村 慎吾
田浦 敏晴 近松恵美子
前田 正治 中尾 嘉男

建設経済委員会

(定数7人)

◎江田 計司 ○坂本 公司
浜田繁次郎 立川 信之
一瀬 重隆 多田隈啓二
田畑 久吉

文教厚生委員会

(定数7人)

◎北本 将幸 ○山下 桂造
瀬崎 剛 松本 憲二
西川 裕文 作本 幸男
森川 和博

議会運営委員会

(定数7人)

◎多田隈啓二 ○一瀬 重隆
中村 慎吾 坂本 公司
江田 計司 前田 正治
中尾 嘉男

議会改革推進特別委員会

(定数8人)

◎西川 裕文 ○多田隈啓二
浜田繁次郎 田浦 敏晴
山下 桂造 北本 将幸
徳村登志郎 江田 計司

議会広報広聴特別委員会

(定数8人)

◎吉田真樹子 ○坂本 公司
大野 豊重 中村 慎吾
浜田繁次郎 山下 桂造
立川 信之 前田 正治

有明海沿岸道路及び 公共施設建設調査特別委員会

(定数8人)

◎中尾 嘉男 ○江田 計司
中村 慎吾 瀬崎 剛
坂本 公司 一瀬 重隆
多田隈啓二 田畑 久吉

玉名市玉東町病院設立組合 議会議員

中村 慎吾 坂本 公司
多田隈啓二 松本 憲二
前田 正治

有明広域行政事務組合 議会議員

浜田繁次郎 立川 信之
一瀬 重隆 北本 将幸
田畑 久吉

熊本県後期高齢者医療 広域連合議会議員

近松恵美子

改選後初の議会

第7回臨時会(11月)



11月17日、18日に改選後初の議会を開催した。

議長、副議長及び新たな委員会構成を決め、市長提出議案が2件上程された。

内容は、令和3年度補正予算と財産取得の2議案を可決し閉会した。

追加補正額
3億7,061万円

主な事業

- 3回目のコロナワクチン接種業務
- 博物館の中規模改修工事

全会一致で可決した議案

議番号	議 案 名
議第110号	令和3年度玉名市一般会計補正予算(第10号)
議第111号	財産の取得について

12月21日 勉強会を開催

議員のさらなる資質向上を目指して

特別会計の仕組み

国保、介護、農業集落排水、水道等について
担当課から説明を受けた



委員会審査報告会

3つの常任委員会の審査内容を共有し、理解
を深めた



ここが聞きたい

一般質問

今期定例会の一般質問は12月8日(水)、9日(木)、10日(金)の3日間にわたり行ないました。

録画映像を
ご覧いただけます



北本 将幸 議員
(創政未来)

質問 企業誘致・人口減少抑制への取組強化を！

企業誘致の取組は、雇用確保・定住促進・税収増加につながる重要な政策である。そこで、市長が10年ビジョンに掲げている工業団地の実現に向けた進捗状況を伺う。また、新玉名駅周辺は様々な課題を解決しながらの整備となるが、その現状と今後の取組は。

産業経済部長 官民連携の工業団地整備と新玉名駅周辺整備で、雇用創出と移住定住の促進を図る

工業団地については、官民連携による整備を掲げている。現在、民間事業者による開発計画並びに大規模開発行為の許認可に向け、県に申請中。今後は、許可後に民間事業者と具体的な協議を行っていく。ま



▲新玉名駅周辺

た、新玉名駅周辺整備は、地権者への説明会や勉強会と並行して、企業誘導も積極的に進めている。現在商業系やマンション・住宅系の事業者数社と継続的な協議を行っており、事業の早期実現を目指していく。



その他の質問

- 玉名型ツーリズム
- 令和4年度予算編成



山下 桂造 議員
(自友クラブ)

質問 水害から街や農地を守る排水機場の維持管理と岩崎排水機場の老朽化対策は

本市は低地が広がっており、急な大雨時にも速やかに排水できる体制が整っていない。市民の暮らしを守る排水機場のメンテナンスについて伺う。また、老朽化した岩崎排水機場の機能を維持することが重要だが、市の考えは。

産業経済部長 排水機場は、防災機能を兼ねた重要な施設で今後も適切な維持管理に努めていく

市が管理する機場は、各運転管理者による動作確認をしながら点検を実施。異常や故障には、専門業者などにより必要に応じて補助事業を活用し対応している。また、岩崎排水機場は、昭和30年に設置され老



◀岩崎排水機場

朽化が進んでおり、平成31年度までにポンプを含む機器の補修工事を行なった。よって機能維持は図られているが、建物の老朽化を踏まえ、今後も十分な点検などを行ない維持管理に努めていく。



委員会報告

総務

令和3年12月14日開催

保育園建て替えに補助金

質問 保育所等整備交付金において補助率が1/2から2/3に変更になった経緯は。

答え 玉水保育園の建て替えに伴うもので、定員が90名から105名に変更された。待機児童解消が図られることなどから、補助率の嵩上げがあった。



▲建て替え中の玉水保育園

ふるさと納税額が大幅増！11月末で6億6,400万円（前年と比較して約2億3,000万円の増）

質問 ふるさと納税返礼品に魅力があり、納税されていると考えるが、その効果は。

答え 返礼品をきっかけに、品質のよい物は生産者から直接購入をされている。種類が複数あるかんきつ類は、旬の物を組み合わせるなど、返礼品の満足度の向上にも努めている。また、返礼品の事業者にとっても、販路拡大につながっている。

建設経済

令和3年12月15日開催

Pay払いでポイント還元

質問 事業委託の内訳は？またどこの事業者のPayを選定しているのか。

答え 還元ポイントの額が1億2,000万円、運営費が900万円である。Pay事業者は複数あり、市内の多くの店舗が利用しているPay事業者を選定する予定である。



▲Pay払いのイメージ

コロナ禍で減少した観光事業の収益アップを目指して

質問 玉名観光魅力アップ業務とは。

答え 高瀬裏川花しょうぶまつりや山田の藤など観光素材に加え、本市の観光の要である玉名温泉、小田温泉の宿泊施設を盛り込んだパンフレットを作成する。令和4年1月から作成する必要があるため予算要求を行なった。

文教厚生

令和3年12月16日開催

保育園の一時預かりについて

質問 保育園の一時預かり事業について、当初予算より減額になる要因は何か。

答え まず、コロナ禍による利用減が考えられる。加えて、今年度待機児童がゼロになったことで、例年多かった待機児童による利用が減少したことも要因ではないかと考えている。なお、令和2年度の利用者は延べ2,024人である。

小中学校体育施設の使用料

質問 小中学生の団体の使用料について、全額免除する考えはないか。

答え 受益者負担の考えから、電気代相当分等、一部を負担していただくのが原則である。しかし、小中学生については、スポーツ活動の場の抑制につながらないように半額の料金を設定する。



▲市内の小学校体育館

質問 統合して約2年が経過、旧小天東小跡地の活用計画と今後は

旧小天東小校区は、学校を中核に地域コミュニティが形成されてきた活気のある地域。住民には、小天小と統合後の跡地活用を不安視する声もある。同時期に統合し、既に新たな事業が展開されている地域もあり、進捗状況と今後の計画を伺う。

教育部長 公共施設としての活用がなければ公募型プロポーザルでの売却を検討

跡地活用は、小天東小と小天小統合時の学校づくり委員会が「教育委員会と小天東地域の両者間で協議し検討する」ことが決定された。これまで数回にわたり地域の意見を聴取し、並行して土地の確定測量等、跡地活用に向けた準備を行ってきた。今後、



◀旧小天東小学校校舎

公共施設としての活用がなければ、玉陵中校区と同様、地域活性化等に寄与する目的での公募型プロポーザルによる民間への売却となる。時期は令和4年度を考えており、その際は改めて地域に説明を行いたい。



質問 各地区の要望に対しては、ひとつでも多く改善できるような取組を！

各区長から市に対して様々な要望書が提出されているが、土木に関する要望の現状を伺う。側溝の蓋がなく修繕されないままの箇所が多く見受けられるとの声を聞いた。今後は環境改善に向け、職員の意識共有を図り対応に尽力してほしい。

建設部長 調査・調整を重ね、効率的に要望の解決に努めていく

土木行政に対しては、毎年多くの要望が寄せられている。このため、地域に偏りがないよう平等に対応するため、優先順位をつけ要望の解決に努めているが、全てを解決するに至っていない。ただ、補修等や少額の費用で対応できるものであれば、当初



◀改良前



改良後▶

予算の範囲内で当該年度に対応している。今後も限られた予算内で調査・調整を重ね、効率的に要望の解決に努めていく。



その他の質問

- 玉名いだてんマラソン
- 金栗四三翁住家

質問 子どもたちのより良い教育環境を目指し、早期の学校統合を希望する

玉水小と小天小の統合に向け協議がなされてきたが、様々な意見があり進展が見られない。また児童数の減少は、集団スポーツができない、学業面で競争力に欠けるなど子どもたちの教育環境にも影響を及ぼすのでは。統合計画の経緯と今後の展望は。

教育長 教育部長 玉水小と小天小の「新しい学校づくり委員会」で協議を進める

玉水小と小天小の統合は、令和元年度から両校の新しい学校づくり委員会で計7回の協議を実施した。様々な課題を話し合い、「学校規模を考えると統合が望ましい」という方向性で協議を継続してきたが、具体的な議論には至っていない。今後は「玉名市学校規模・配置適正化基本計画」の2次



◀玉水小学校



▶小天小学校

計画の策定状況を見て協議を進めることになる。また児童数の減少傾向を考えると、集団での学びを確保するためにも、できるだけ早い時期に結論を出す必要があると考える。



その他の質問

- 天水本村地区の道路整備

質問 コロナ禍での世界的な原油高騰による、農業・漁業・商工業への影響と対策は

原油価格の高騰は、様々な産業活動に影響を及ぼしている。コロナ禍からの経済活性化に向かっていくところに、事業主にとっては新たな懸念要因であり、市の早急な対策が必要ではないか。

産業経済部長 農水商工業への影響は大きいと認識しており、支援策を検討していく

農業・漁業者に対する支援策として、熱効率を向上させる資機材の導入補助または国のセーフティネット構築事業の追加支援とする燃油費の補填等の市独自の支援策を検討する。制度資金の利子補給は、今後、県等の制度資金が新たに創設された場合に



◀重油の価格高騰が心配されている施設園芸ハウス

は前向きに検討する。商工業においては、国等が行なう対策事業で市が担うセーフティネットの認定事務等や、適切な相談機関への誘導、商工団体との連携強化により支援を行なう。



質問 住宅が増え児童数が増加する築山小学校の施設整備の現状、課題と対策は

築山小校区は、今後も宅地化が進み児童数の増加が見込まれ、現在の学校施設では十分でない部分が多いのでは。そこで、児童数の推移と現在の校舎や老朽化した体育館、プールなど学校施設の現状及び今後の課題と対策を伺う。

教育部長 老朽化している校舎や体育館の改築時に併せて総合的に判断していく

現在、築山小の児童数は増加傾向にあり、今後も増加の可能性がある。学校施設整備は、特別教室棟と体育館の改築を現時点で令和6年度からの予定としている。また、プールは老朽化への対策の検討を行ない、運動場は、形状が悪く狭いため、拡張も含



▲築山小学校の校庭と校舎

め検討しているが、学校敷地の高低差や隣接する河川改修等の問題があり、改善までは至っていない。今後も児童数の推移を注視し、校舎の棟ごとの改築・改修計画に基づいて極力改善していく。



その他の質問

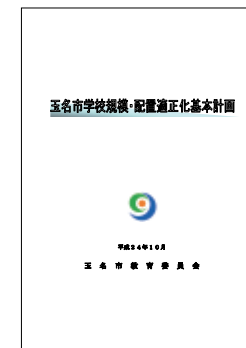
- 市長の市政運営について

質問 小中学校の統合には、地域住民が不安を抱かないよう丁寧な対応を

児童生徒数が減少する中、「玉名市学校規模・配置適正化基本計画」に基づき学校の統合が行なわれているが、計画どおりに進んでいない。地域住民は、新たな地域コミュニティの形成に不安を抱えているのでは。地域の人々が寂しい思いをしないためにも、より丁寧な市の対応が必要ではないか。

教育部長 学校は地域の核。統合の際は市民の理解を得よう丁寧な対応に努める

学校の統合には、想定以上に時間を要する。現在、今後の10年計画（第2次基本計画）策定に向けた審議会を開催しており、今後は新たな計画に沿って進める。学校は



▲計画書の表紙

地域コミュニティの核としての役割を担っており、防災・地域交流の場等、様々な機能を併せ持つ。今後も地域コミュニティに十分配慮し、市民へのより丁寧な対応を心がけながら進めていく。



その他の質問

- 市の基幹産業である農水産業の施策

質問 市内各地で見られる冠水被害の対策と関係者が協働する「流域治水」の考えは

想定外の豪雨が毎年のように発生し市内でも冠水被害が起きているが、市の対策を伺う。また国県市や地域住民が協働して行なう「流域治水」の取組と考えは。

建設部長 様々な水害対策を実施し、関係機関や住民と連携しながら、流域治水を推進する

市内の冠水被害に対し、河川に堆積する土砂の撤去や除草、排水機場や樋門等の適正な維持管理、側溝や排水路の整備に加え、危険箇所の巡回パトロールの徹底や住民の危機管理意識を高めていくための情報発信の強化にも取り組んでいく。流域治水とは、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水害対策を行なう考え方のことで、菊池川や



▲天水町小天の道路冠水状況

二級河川の流域治水プロジェクトに参加している。これは、地域住民の生命・財産を守り、総合的な治水対策を推進する重要な取組であり、今後も玉名地域の流域治水の推進に努める。



その他の質問

- 医療費の助成
- 交通不便地域の対策
- 入湯税



質問 小学校部活動の社会体育移行後の問題と学校体育施設使用料の見直しとは

移行後は、指導者探しや送迎、月謝の課題を抱えながらも、子どもたちのために運営されている。市でも問題点は把握しているのか。さらに翌年度から学校施設使用料の負担も発生するとのことだがその詳細は。また補助金の検討はあるのか。

教育部長 3段階の料金体系を設定、中学生以下料金を新設。使用料についてご理解を

現在は運動をしている小学生とそうでない子の2極化が進んでおり、運動プログラム等の自主事業を体育施設の指定管理者と協議中。また部活動が社会体育へ移行し3年が経過。2年間の使用料減免措置期間が終了した今年は、利用団体等への周知期間



▲学校体育施設を使用するスポーツクラブの子どもたち

として減免を継続。今回の改正では、市民に分かりやすい3段階の料金体系を設定。中学生以下は一般の半額とする。利用団体には、新料金体系、中学生以下の料金設定に対し理解を求めたい。社会体育移行団体への補助金等は考えていない。



その他の質問

- 河川の水害対策



質問 旧庁舎跡地整備は商店街活性化も含めた活用を！

旧庁舎跡地周辺の整備において、急傾斜地の崩壊対策工事が進んでいる。商店街活性化の面でも、玉名第1保育所建て替えのため使用する仮園舎のリースを延長してでも、跡地活用を具体的に検討した後、一体的な整備をしてはどうか、市の見解は。

企画経営部長 旧庁舎跡地は、気軽に集える多世代間交流の拠点とし官民連携による整備を行なう

現在、旧庁舎跡地では、急傾斜地崩壊危険区域の指定解除の工事を行なっている。玉名第1保育所は、園児の保育環境を整えるため、できるだけ早く本園舎を建設したい。建設地は、「玉名市公立保育所の在り方に関する基本方針」で本市の拠点となる保育所と位置づけているため、現地で建て替



▲市役所旧庁舎跡地周辺

えが適切と判断している。このことから、旧庁舎跡地は、玉名第1保育所を含め、気軽に集える多世代間交流の拠点として官民連携による整備を行なう。



その他の質問

- 市立小中学校体育施設の使用



質問 教職員の業務のすみ分けを教育行政がはっきりとしし学校を核とした地域づくりを

教職員の働き方改革を推進していく中でも、地域との連携は最も重要であり、特に文科省からも示してある「学校が必ずしも担う必要のない業務」や「教師の負担軽減が可能な業務」について、教育行政はどのように舵取りを行なっていくのか伺う。

教育部長 教職員が担う業務の分担・適正化を図り、地域と連携し働き方改革を推進する

教職員の働き方改革を推進していく上で、地域との連携・協力は不可欠である。教育委員会では、全ての市立小中学校に運営協議会を設置し、地域学校協働活動推進員を配置するなど、学校と連携して業務を担っていただける受け皿の整備を行なっている。



▲地域住民が裁縫の授業でお手伝い

今後も引き続き、教職員の業務の統合・削減をはじめ、役割分担・適正化を図り、教職員が働きやすい、そして本来の業務である教育活動に専念できる環境作りに努めていく。



その他の質問

- 玉名市のスポーツに関する施策



質問 親と暮らせない子どもをあたがい家庭環境で養育する“里親制度”の周知を

虐待や貧困など様々な事情から家庭で暮らせない子どもの数は、全国で45,000人、熊本県で約750人。社会で生きていくための準備として、家庭で過ごす時間は貴重である。そこで里親制度への正しい理解と周知がもっと必要あり、本年度の里親講座の開催をぜひ切望する。

健康福祉部長 里親講座の開催は、新型コロナウイルスの状況などを見極め、再検討したい

市が主催する里親講座は、里親月間である10月に開催していたが、本年度は、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ見送っていた。しかしながら、現時点では、熊本県のリスクレベルが、「レベル1 注意」に



◀厚生労働省の里親周知ポスター

とどまっているため、里親講座の本年度中の開催可否について、今後早急に協力団体や関係機関の意見を聴き、また、新型コロナウイルスのオミクロン株の影響や、第6波の到来などの状況を見極め再検討したい。



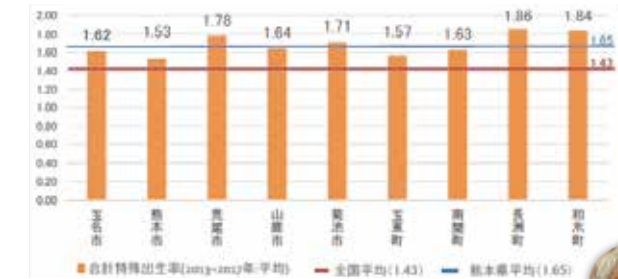
質問 高校3年までの医療費助成は子育て支援の最重要課題！スピード感を持った取組を

市民のニーズ調査では、少子化対策における子育て世帯への支援として、保護者の経済的負担軽減を要望する声が多い。子ども医療費助成を高校3年生まで拡充することは、最重要課題と認識しこれまでも提案してきたが、今後の市の見解を伺う。

健康福祉部長 持続可能な財政運営を見極めるなどとして、前向きに検討を進めたい

「子育て支援」への施策としては、①待機児童「0」の達成、②学童保育5クラブ拡大、③子ども医療費の窓口負担「0」の実現、④子育て不安解消のための「女性・子ども相談室の設置」などが挙げられる。「高校生までの医療費無償化」については、

周辺都市の出生率(2013～2017年平均)



玉名市人口ビジョンより抜粋

今後の課題として認識しており、持続可能な財政運営を見極めながら、近隣市町との状況等もしっかりと把握した上で、前向きに検討を進めたいと考える。



効果的な一般質問を行なうために ～ オンライン研修会開催 ～

11月26日、議会活動における知識の習得と一般質問のスキルアップを目的に、全議員対象の研修会を実施した。一般質問を行なう上での心得11項目があり、議員それぞれが現状を振り返る貴重な機会となった。

一般質問で気をつけたいこと

- ① 一部の地域だけに基づく質問は好ましくない
(全体利益を十分考慮すること)
- ② 根拠や証拠のない質問は適当でない
(十分な調査研究をする必要あり)
- ③ 自分の考えや思いだけを質問にしない
(執行部と議論ができる内容を)



3月定例会の予定

2月 18日(金) 議会運営委員会	3月 14日(月) 総務委員会
25日(金) 開会	15日(火) 建設経済委員会
3月 7日(月) 一般質問	16日(水) 建設経済委員会
8日(火) 一般質問	17日(木) 文教厚生委員会
9日(水) 一般質問	18日(金) 文教厚生委員会
10日(木) 一般質問(予備日)	25日(金) 閉会
11日(金) 総務委員会	※都合により変更になることがあります。

表紙のイラスト



玉名女子高等学校 いなざき おおか 桜夏 さん
小天神社(小天天子宮)の10月上旬
に行なわれる火渡り神事を描きました。
疫病治癒を願った神事を、皆さんにもつ
と知ってほしいと思い描きました。

議会広報広聴特別委員会

(委員長) 吉田真樹子 (副委員長) 坂本 公司
(委員) 大野 豊重 中村 慎吾
浜田繁次郎 山下 桂造
立川 信之 前田 正治

編集後記

2期目のスタート地点に立ち、はや数か月。新人議員7名を迎え新たな「玉名市議会」となりました。このたび議会広報広聴特別委員会の委員長を拝命し、更に責任の重みを感じています。これまでの4年間で見聞きしたことを振り返りながら前進していきます。

「たまな市議会だより」からリニューアルした「たまたて箱」は、文字は少なく写真や余白を多く、字体をやわらかくしてオールカラーで発行！議会活動をわかりやすく紹介します！一緒に玉名を盛り上げましょう！！

委員長 吉田真樹子

☆ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック！